



# 第161回触媒化学研究センター談話会

---

演 題：酵素による不斉脱炭酸反応  
-反応機構と変異導入によるエナンチオ選択性の逆転-

講演者：太田 博道 教授  
慶應義塾大学 理工学部 生命情報学科

日 時：2003年12月10日(水)  
16:00~17:30

会 場：北海道大学創成科学研究棟  
4F セミナー室 4-215号室

要 旨：アリールマロン酸脱炭酸酵素は補酵素なしで、二置換マロン酸を脱炭酸して対応する二置換酢酸誘導体を生成する。本酵素では、Cys188がプロトン供与体として重要な役割をしていることを変異導入により明らかにした。この事実をもとに、部位特異的変異によりCysの位置を動かして、反応のエナンチオ選択性を逆転させることに成功した。

《連絡先》北大触媒化学研究センター 触媒設計化学分野

市川 勝 (TEL 011-706-9140, FAX 011-706-9139)

E-mail: michi@cat.hokudai.ac.jp)